

寺報

No.667

令和5年3月

蓮華寺
發行

御聖訓

教主きよしゆじやくそん釈尊にほんこくは日本國の一切衆生いっさいしゆじょうの
父母ふぼなり、師匠ししやうなり、主君しゆくんなり。

『頼基陳狀』
よもちんじょう



妙見菩薩

(解説)

日蓮大聖人は「お釈迦様は、この日本國の一切の人々の父であり、母であり、また師であり、更に自分が仕える國の最高のお方であり、常に我々を守り続けているのです。」と教えられました。

つまり、いつでも皆の幸福を願い、また安らかに日々を過ごせるようにと願っているのです。

しかし、いくらお釈迦様が願われても、我々がその思いにこた応えられないように生きていかなければ、何にもならないのです。

現代は、お金や権力の為に他人の命を奪ったり、また自らが命を落としたり、若者や老人になつても罪を犯す人達が沢山います。

これでは、何の為にこの世に生まれ、何の為に今まで生きてきたのかが分かりません。

しかし幸いな事に、我々には有り難い法華經とお題目があるのです。

どうかこの出会いを忘れずに、命の値打ちをしつかりと受け止め、一日を大切に生きていきましよう。

『春彼岸会』『星祭』

十八日(土)・二十一日(火)・二十四日(金)

水 行・・・昼十二時半 大本堂前

法 要・・・午後一時 大本堂

法 話・・・約十分間

番	十八日	加藤上人
当	二十一日	對馬上人
話	二十四日	住職上人



④『春彼岸会』と『星祭』の法要は三日間ですが、先祖供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。なお、合わせて星(劍守札)もご祈祷します。

法要次第

- 一、勸請(導師が唱えます)
- 一、開經偈(無上甚深微妙の)
- 一、お経(漢字読み)

〔序品第一〕方便品第二〔如来寿量品第十六

〔自我偈〕如来神力品第二十一〔觀世音菩

薩普門品第二十五〔咒陀羅

- 一、ご祈祷(法樂加持)
- 一、御妙判(如説修行鈔)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經)
- 一、宝塔偈(此経難持)
- 一、星祭祈願(導師が唱えます)
- 一、お経(自我偈・漢字読み)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
- 一、彼岸回向(導師が唱えます)
- 一、四誓(衆生無辺誓願度)
- 一、お題目三唱

【法話・・・約十分間】 以上

④ご祈祷のお経は速く読みますので、ご了承下さい。

お寺からのお知らせ

*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後にも申し込みでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、また、お預かりの『お骨』に一週間上がりまます。「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けますが、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

*劍守札(星)【一体・二百円】

④星(劍守札)のお申し込みは、専用の申込書にお名前と性別・生年月日をお書きの上、お早目にお申し込み下さい。なお、宗派は問いません。

「星」(劍守札)を 申し込みましょう!

当山では『星祭』の期間中、一週間、皆様のご家族のお名前と性別・数え年を記入しました「星」(劍守札)をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散し、一年間無事安泰でありますようにと祈願します。その為に、当山僧侶が、十八日の彼岸の入り・二十一日の中日・二十四日の明けの三日間、水行をし心身を清めてから、ご祈祷をします。

「星」はいわゆる「日曜星」土曜星の七曜星に、太陽と月をさえる「羅喉星」、彗星である「計都星」を加えました「九曜星」を、皆様の年令と性別によって配当していきます。

それで、我々はその年の自分の運勢を知り、これを元に行動し、更に法華経・お題目の信仰を持つ事によって、より一層安心した人生を送れるのです。

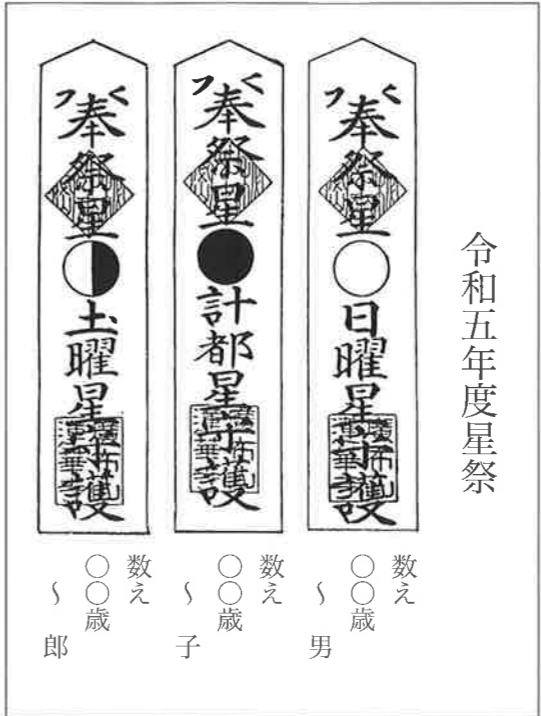
どうか、檀信徒の皆様は是非とも毎年この「星」(劍守札)をお申し込みになりますようにお願いいたします。また、今までお申し込みしていなかった方も、今年よりよろしく願います。

星（劍守札）のまつり方

お寺より「星」を戴きましたら、そのままにして置かないで、必ず厚紙に貼り、各自の数え年と名前を書き、自宅の御寶前か仏壇の下の方にお祀りして、毎朝拜むようにして下さい。

また、昔より仏間のカモイに貼る家庭もあります。とにかく、一年間大事にお祀りする事が大事です。

令和五年度星祭



※なお、五枚まで貼れる専用の台紙も、事務所にて販売しております。

三月十三日(月)

午後一時より

場所…大本堂

会繁涅槃尊釈



- *お釈迦様が亡くなられました、祥月命日の日です。
- *十三日のお勤めの中で、一緒に執り行います。
- *お釈迦様へのお供物もお受け致します。

檀信徒の皆様へのご挨拶



蓮華寺総代・護持会々長
青森県議会議員

山 谷 清 文

昨年四月の護持会役員会におきまして、前任の『山本基』会長のご逝去に伴い、後任として新会長に選任頂きました。

浅学非才の身であります。護持会の目的である『廣布山 蓮華寺』の護持と維持のために誠心誠意努めてまいりたいと思っております。護持会々員の皆様には、これまで以上のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて世界では、すでに三年を越えた新型コロナウイルス感染症のまん延や、一年以上も続いているロシアによるウクライナ侵攻によって、毎日多くの人たちが

犠牲となり、傷ついているという悲しい現実が続いています。

わが国、そしてこの青森県においても、長引くコロナ禍の影響は、私達の生活に大きな影を落としており頻発する大雨や大雪などの自然災害被害と相まって、大きな社会不安や混乱を招く結果となっております。

昨年は日蓮大聖人ご生誕八百年の年でしたが、日蓮大聖人が活動した鎌倉時代においても、大地震や噴火、外国（蒙古）による侵攻、そして飢饉や疫病によって人々は苦しめられていました。その中で日蓮大聖人は社会全体が平和で幸福になることを願い、人々を救うために迫害や苦難に堪えながら、日蓮宗の教えを日本全国へ広めたのでした。

いつの時代にあっても不安や混乱は尽きませんが、現代に生きる私たちも、日蓮大聖人のみ教えを胸に『法華経』と『南無妙法蓮華経』の御題目を唱えながら一日一日を大切に過ごし、争いのない平和な社会が一刻も早く築かれることを心から願って止みません。

三月の行事

- 一 日(水) 盛運祈願会 午後一時より
 - ・お守り【霊神符】の交換の日です。
 - ・自ら進んでお勤めに参加し、お経を唱えましょう。
 - ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
 - ・蓮華寺檀信徒の方は、必ず【霊神符】をお持ち下さるようお願い致します。



七日(火) 甲子きのえね【大黒様の日】 朝のお勤め中

十三日(月) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・お経
 - 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
 - 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・皆様も日蓮大聖人さまの御報恩を忘れずに参拝し一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(月) 釈尊涅槃会 午後一時より
 ・十三日のお勤めの中で執り行います。

『春彼岸会』・『星祭』【三日間】
 十八日(土)・二十一日(火)・二十四日(金)

【水行】 昼〇時半より
 【法要】 午後一時より

☆奉仕のお知らせ

- 十六日(木) 星祭の準備 男女共・午前十時より
- *星祭の祭壇、水行等の準備
- 十八日(土) 【彼岸入り】 男女共・午前十時より
- 二十一日(火) 【彼岸中日】 男女共・午前十時より
- 二十四日(金) 【彼岸明け】 男女共・午前十時より

②『春彼岸会・星祭』の行事は三日間ですので、ご奉仕とご参拝は日程・時間をお確かめの上、お願いします。

また「水行」のお手伝いは、人手が沢山必要ですので、一日でも多くご奉仕下さい。
 特に二十四日(金)は星祭のお札を渡す日ですので是非ともご協力をよろしくお願いします。

お守りもご奉仕しましょう

☆『春彼岸会の追膳』

十八日(土)〜二十四日(金)まで一週間
 『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時〜七時半頃迄】夕【午後三時〜五時頃迄】ですの
 でお手伝い出来ます方は時間までご集合下さい。
 ②お手伝い希望の方は、教宣部員以外でも歓迎しますので、どうぞ時間までご集合下さい。

◎教宣部長 杉淵昌三

☆『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔・水子観音像・動物供養塔』の(彼岸供養)は、三月二十一日(火)の午前十時三十分より、住職上人がまづ大本堂にてご回向し、その後境内地の各塔でご供養します。ご一緒に参拝出来る方は、時間までにお越し下さい。
 時間は約三十分くらいです。

☆三月まで、檀信徒研修会
 はお休みです。

「寒修行」終了す

本年、一月六日から二月二日までの二十八日間に渡り行われました「寒修行」は、皆様のご協力により無事終了する事が出来ました。

今年は大雪に吹雪、連日の零下の気温、更にコロナ感染の危険と大変な状況が重なり、非常に厳しい修行となりました。

それでも、皆さんが頑張って参加してくれました。本来、修行とは誰の為でもなく、自分の為に行うものですが、その僧俗一体となり一心に修行しているお姿は、正に異体同心、ご本仏様そのもののお姿でした。どうか来年度からは、いまだ参加した事のない方々も「寒修行」に参加してみてください。

まず、何よりも実行してみる事が大切です。なお、今般も法務ご多忙の中、導師を勤めてくれました住職・加藤・對馬・塙・角田の各上人に於かれましては、誠に有り難うございました。また、参加された皆様も、どうもご修行ご苦勞様でした。

『春彼岸会』 『星 祭』

三月

十八日(土)・二十一日(火)

二十四日(金) の三日間

水 行・・・ 昼十二時半より 大本堂前

*檀信徒の皆様のお支度をよろしくお願いいたします。



法 要・・・ 午後一時より 大本堂

法 話・・・ 約十分間 法要終了後

(先祖供養、追膳、星【剣守札】、供物は受付中)

* 『水行』『法要』は彼岸の入り・中日・明けの三日間ですので、檀信徒の皆様もご注意の上、ご参拝下さい。なお、ご供養は残り四日間「朝のお勤め」の中でご回向します。